

より良い未来のために。  
あなたも  
エシ活はじめませんか？



※このパンフレットは、名古屋市からの「令和5年度 大学へのエシカル消費の普及・啓発事業委託」により作成したものです。



なごやSDGsグリーンパートナーズ認定優良エコ事業所である株式会社荒川印刷と協力して制作しました。

制作

中京大学法学部杉島ゼミ





## マイクロプラスチック

### マイクロプラスチックとは？

極小のプラスチックで、5ミリメートル以下のプラスチックのことを指します。マイクロプラスチックは大きく分けて、「一次マイクロプラスチック」と「二次マイクロプラスチック」の2種類に分類されます。

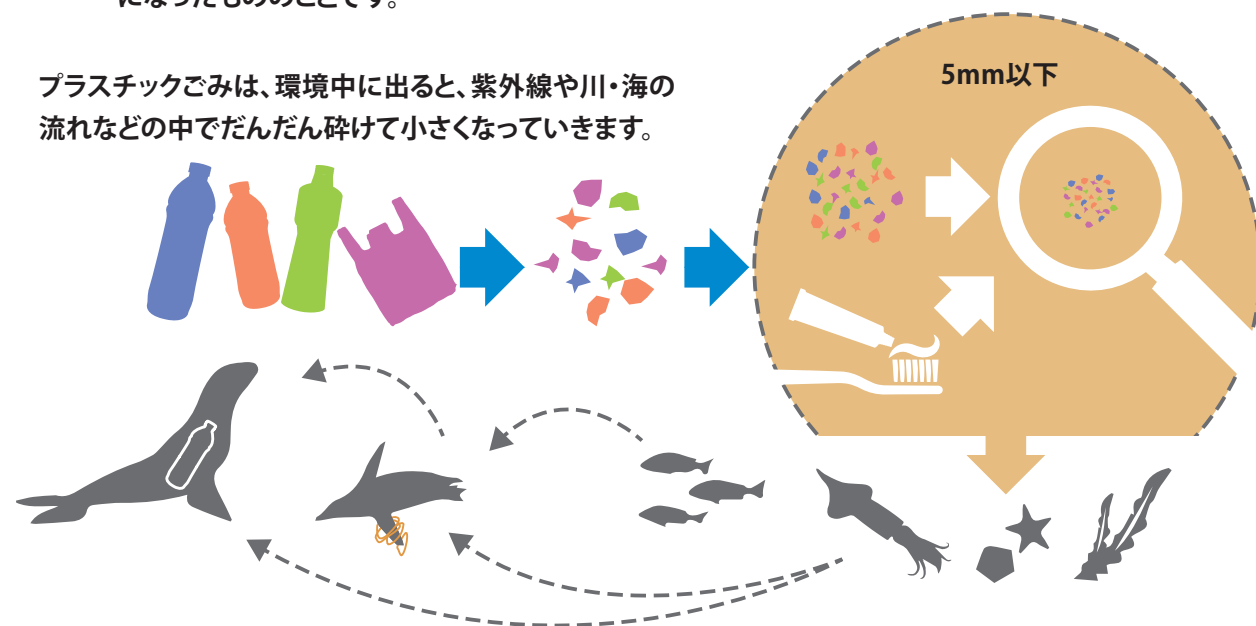
#### 一次マイクロプラスチック

洗顔料・歯磨き粉といったスクラブ剤や化学合成繊維の衣類・タオルなどに含まれる小さなプラスチックのことで、主に家庭の排水溝などから下水処理を通り、海へと流出されます。

#### 二次マイクロプラスチック

街に捨てられたビニール袋やペットボトル、タバコのフィルターといったプラスチック製品が側溝などから川を伝って海へ流出し、紫外線による劣化や波の作用などにより破碎されて、マイクロサイズになったもののことです。

プラスチックごみは、環境中に出ると、紫外線や川・海の流れなどの中でだんだん砕けて小さくなっていきます。



参考:WWFジャパンHP

### マイクロプラスチックによる影響

プラスチックに含まれている有害物質がマイクロプラスチックによって海に流出され、魚を通じて人間にも悪影響を及ぼします。そして、マイクロプラスチックは非常に小さいため自然環境中からの回収が困難で、半永久的に分解されることなく残り続けます。

## エシカルファッション

### エシカルファッションとは？

人や社会、地球環境、地域に配慮された商品やサービスを選ぶ「エシカル消費」に基づいて製造・流通・販売されるファッションです。

#### 問題

現代では、ポリエステル・ナイロン等の繊維で服の大量生産がされるようになりましたが、それらの服を洗濯することにより、細かい繊維（一次マイクロプラスチック）が出ます。洗濯などによって出たマイクロプラスチックは、下水処理場をすり抜け、海に放出されるため、環境汚染に繋がります。

#### 対策

- 洗濯ネットを使うこと
- 天然素材の服を着ること
- 必要以上に服を買わないこと
- 海洋プラスチックでつくられた服を着ること
- 認証マーク(OCS 100、OSC Blended)の服を買うこと



## 私たちにできること

- プラスチックごみを出さないようにプラスチックの使用を削減することやプラスチックを回収し、再利用もしくは新しい製品として再利用すること
- 洗濯ネットを使用したり、服についているタグを確認して買い物をしたりすること、地域によって指定された正しいごみの分別をすることやマイバッグを持ち歩くこと
- 使い捨てではなく繰り返し使用できるものを買うこと

参考:日本財団ジャーナルHP、WWFジャパンHP



# インターネット取引とエシカル消費の 関わりについて



## はじめに

エシカル消費とは地域の活性化や雇用などを含む人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことです。これが一体インターネット取引とどういった関わりがあるのか見ていきます。私たちが身近に感じるものでいえば通販サイトやフリマアプリ、アプリ内課金などがあげられますが、その中で、フリマアプリ、ネットオークション、通販の3つの分野に着目していきます。

## フリマアプリ

フリマアプリとは専用のアプリやサイトを通して個人間(CtoC)で商品を売買できるサービスです。インターネット環境があれば、スマホやパソコンなどの端末でも利用できます。オンライン上のため移動や対面のコミュニケーションが不要です。

### メリット

- 手軽に誰でも出品できます。
- 匿名での出品が可能です。
- 実店舗がある買い取り業者では買取されない商品でも売れます。

### デメリット

- 買い取り業者とは違いすぐに売れるとは限りません。
- 値引き交渉される場合があります。
- クレームが発生する場合があります。

## ネットオークション

インターネットオークションとは、インターネット上で行われる入札形式のオークションです。通常、出品者が商品やサービスを提供し、入札者はその商品やサービスに対して金額を入札します。入札期間が終了した時点で、最も高額な入札を行った者が落札者となり、商品やサービスの取引が成立するものです。

### メリット

- 多様な商品入手可能性があります。
- 価格競争による割安な取引が可能です。
- 利便性と時間の節約ができます。

### デメリット

- 不正や詐欺のリスクがあります。
- 商品の状態の確認が難しいです。
- 競争による高額落札の場合があります。

## 通信販売

通信販売とは特定商取引法に基づいて事業者が新聞、雑誌、インターネット等で広告し、郵便、電話等の通信手段により消費者からの申し込みを受ける取引を指します。

### メリット

- 場所、時間に制約されない便利さがあります。
- 店舗販売に比べ割安な価格です。
- 広い選択肢により自身に合う商品の選択ができます。
- 配送サービスによって手間がかかりません。
- レビューや評価による判断が可能です。

### デメリット

- 実際に商品の確認ができません。
- 配送料、手数料といった商品以外の料金の負担があります。

⚠ 注意：通信販売にクーリングオフはありません。



## まとめ

- インターネット取引において、中古品や使わなくなったものを必要としている人のもとに届くことで廃棄されるものや、廃棄する際にかかるコストについても減少します。そのため、インターネット取引を行う上でエシカル消費に関連する商品についての情報を得ながら行うことがエシカル消費に貢献する第一歩となります。
- インターネット取引には、買った商品と違う商品が届く、詐欺などにあう、出品してはいけない商品を出品、購入する可能性もあるため、トラブルに巻き込まれないよう慎重に行うことが重要となります。
- ルールを確認して、トラブルを未然に防ごうとする姿勢も大切です。



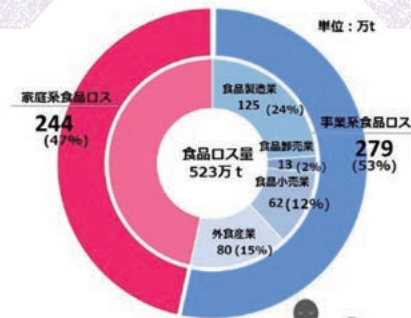
# 食べ物のムダをなくそう!



## 食品ロスの現状

### 令和3年度における日本の食品廃棄量

- 家庭系食品ロス…約**244万**トン(前年比-3万トン)
- 事業系食品ロス…約**279万**トン(前年比+4万トン)
- 合計**523万**トン(前年比+1万トン)



引用:農林水産省HPより

## 家庭における食品の廃棄理由

- 家庭における食品廃棄物  
→食べ残しが多く、調理の過程で生じた皮の厚むきによる過食部分の除去などもあります。
- 食品の未使用(調理した料理を含む)による廃棄  
→食品の鮮度の低下が多く、賞味期限・消費期限が切れてしまったためなどもあります。

参考:『令和2年版 消費者白書』P108

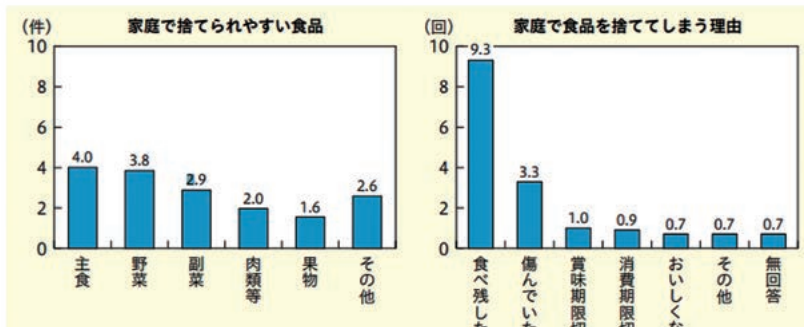
## 食品ロスの主な原因

- ①食べ残し ②手付かずの食品(直接廃棄) ③皮の剥きすぎ(過剰除去)

## 食材別廃棄割合

最も捨てる食材は「主食類」で次いで「野菜類」です。

- 果物や野菜は、皮を剥きすぎた部分も「過剰除去」として食品ロスに含まれます。



(備考) 1. 消費者庁「平成29年度徳島県における食品ロスの削減に資する取組の実証調査報告書」(2018年)により作成。  
2. 実証調査期間(4週間)に廃棄された食品(飲料を除く)について、回答モニター1世帯当たりの、(左図)食品の種類別の廃棄件数、(右図)理由別の回数。

引用:『令和2年版 消費者白書』P108

## 消費期限、賞味期限

- 消費期限** 袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、標示期限まで、「安全に食べられる期限」のことを言い、傷みやすい食品に表示されています。
- 賞味期限** 袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、標示期限まで、「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のことを言います。消費期限に比べ、いたみにくい食品に表示されており、この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。

## 買い物時のポイント

- 買い物をする前に、冷蔵庫や食品庫にある食材をチェックする。  
→メモや写真をとって参考にしましょう。
- 使う分、食べられる量だけ購入する。  
→まとめ買いを避け、必要な分だけ買い、食べきることを心がけましょう。
- 期限表示を知って、賢く購入する。  
→利用予定と照らして期限表示を確認し、すぐに使う予定の食材は、お店の食品棚の手前からとりましょう。(手前の商品は賞味期限が近づいているものが多く、手前から取らないと売れ残り、返品や廃棄されてしまうため。)



参考:農林水産省HP、消費者庁HP、環境省HP